

撮像済み MRI データの視察的評価と既存の臨床資料の対比による再解析

1. 研究の対象

2010年1月1日より2015年5月30日に当センターでMRI撮像を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究では日常臨床目的で既に撮像済みの脳MRIデータを再活用し、従来からルーチン撮像時に広く用いられているT1強調像、T2強調像、FLAIR像に加え、神経メラニン画像をはじめとする比較的新しい撮像法による視察的評価を追加することにより、MRIによる脳病変の検出能を検討することを目的とします。

本研究では従来からルーチン撮像時に広く用いられているT1強調像、T2強調像、FLAIR像に加え、神経メラニン像、T2*強調像、DIR(double inversion recovery法)、SWI(Susceptibility-weighted imaging)、ASL(Arterial spin labeling)、CISS(constructive interference in steady state)、3D phase contrast法によるcine MRI、STIR(short TI inversion recovery)などをはじめとする比較的新しい撮像法による視察的評価を追加することにより、目的とする疾患を検出する感度、特異度をはじめとする脳MRI検査の診断能改善が得られるかを検討します。

本研究の研究期間は2015年5月から2021年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

撮像済みの脳MRIデータ、撮像時の年齢と性別、カルテに記載された病歴等を用いて研究を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒173-0015 東京都板橋区栄町35番2号 東京都健康長寿医療センター

電話：03-3964-1141

研究責任者：放射線診断科 下地啓五